

点検内容を基に順次改修・修繕していく。

町内会組織の運営改善策

原 紀夫 議員

町内会等組織は少子高齢化により人口減少が進んでいる今こそ、お互いに協力していくことが何よりも重要である。

①町内会等の統合はなぜ進まないのか。

②未加入世帯に対し、どのような策を講じているか。

③職員の新規採用等が多くなってきており、町民との交流面からも地域担当制を考えては。

④役員のみならず手不足が活動を停滞させている面もあるが改善策は。

⑤活動の支援や助言を行う専門部署の設置や退職職員を採用する考えはないか。

高薄町長

①自主的な活動の中での



年度始めに行われている町内会長会議では、町からの連絡事項伝達のほか、様々な意見や要望を聴取している。

の負担にならないため、気軽に職員を活用できる良い方法を考えたい。
④町内会が抱えている問題はどこなのかを抽出して、どういった協力体制をとれば町内会活動がうまくいくのかを共に考えたい。
⑤現在は町民生活課の住民活動係が担当している。地域おこし協力隊の活用や住民活動のボランティア制度を考え、できるだけ財政の負担にならないようにしたい。

空き家対策特別措置法

原 紀夫 議員

全国820万戸に及び空き家対策の特別措置法が全面施行された。本町の対応や対策について伺う。

①本町の空き家戸数や状況は把握されているか。
②地域の空き家を登録して情報提供する「空き家

バンク」の取り組みが盛んに行われているが、本町も取り組むのか。
③空き家の所有者に撤去や修繕を勧告できるようになったが、該当する空き家はあるのか。

④町民から苦情のある工場跡地等は、今後どのような対応になるのか。

高薄町長

①現在、空き家の戸数は100戸前後で推移している。今年度は廃屋解体撤去事業によりすでに5件の解体が決まっている。

②本町は早くから空き家・空き家情報を提供している。バンクというかたちではないので、今後条例を定める中において検討していきたい。

③現在、該当する空き家はない。勧告は条例を設けなければできないので、できるだけ早く考えていきたい。

④町や消防から幾度か話しているが強制的にはできない。今後は条例を制定する中で指導していく。

基幹産業である農業を守るための施策

安田 薫 議員

地域の基本は、家族経営農業である。しかし、TPP、異常気象、消費者の求める安心・安全な農作物の生産、大規模化が進み、農村地域の生産と生活の両面から課題が山積みである。執行方針でも語られているが、具体的に施策を伺う。

①担い手対策として町をあげての婚活を考えると。
②バイオマスプラントの計画は。

③多面的機能支払事業(農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を



支援する事業)の効果に行政の施策をプラスし、

農村の環境美化を考えては。

高薄町長

①本年中に町ぐるみの青年交流会を行うことでJAと商工会も同意している。近いうちに再度打ち合わせ会議を開き、婚活に取り組んでいく。

②家畜の糞尿対策と環境・有機農業の推進のために有効な方法だと認識している。

経済産業省の事業を活用してバイオマスプラントの可能性を調査していきたい。

③この事業は保全管理の支援制度であり、環境美化も含めて農村地帯を美しく、環境を良くしていくというもの。

面積も広く多忙であることから地区によっては委託が多いが、皆さんでやることで農村地区の結束力が生まれ、友好の輪が広がり、助け合いが生まれる効果がより一層あることから、この事業を進めていきたい。